

**「ICTタスクフォース」ヒアリング資料
公正競争の一層の活性化に関する
論点整理(案)について**

2010年11月9日

**イー・アクセス株式会社
イー・モバイル株式会社**

「光の道」の実現に向けて

公正な競争環境下での
料金の低廉化とサービスの多様化を促進

ネットワークの
オープン化政策

ドミナント規制

ネットワークのオープン化の在り方

「アクセス網のオープン化等の在り方」、「中継網のオープン化の在り方」に対する意見

- ✓ 移行期間における課題
- ✓ 課題 加入光ファイバ接続料の問題
- ✓ 課題 ドライカッパ接続料の上昇
- ✓ 課題 PSTNからのマイグレーションルールの未整備

現状の課題

加入光ファイバ接続料の問題

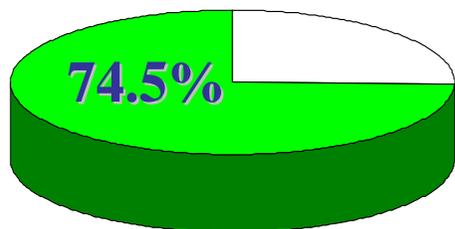
ドライカップ接続料の上昇

PSTNからのマイグレーションルールの未整備

メタル/PSTNからFTTH/IPへの移行期の状況

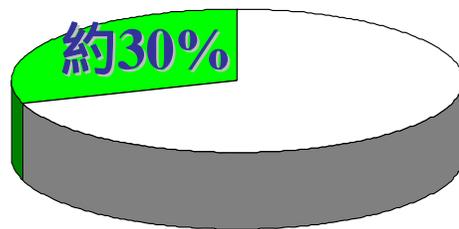
FTTH

NTT東西の市場独占化



出所:総務省 2010年6月末時点

利用率の伸び悩み

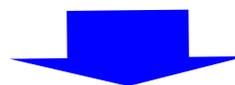


出所:総務省

PSTN

NTTの
PSTNマイグレーション計画

2025年頃に移行完了



「光の道」を促進？

出所:NTTの概括的展望

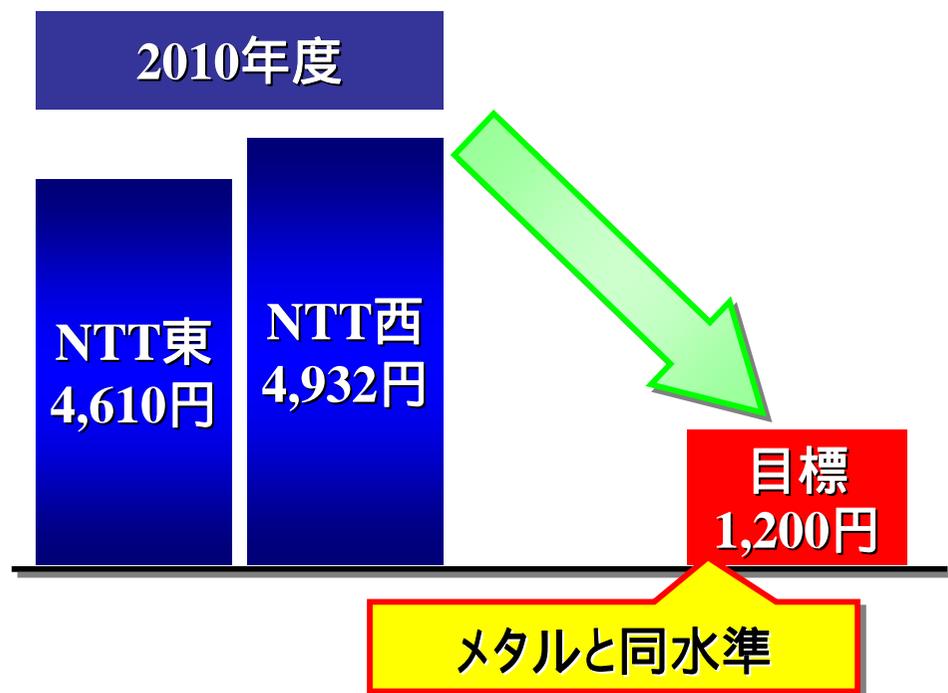
ドライカップ接続料の上昇

3年で約10%上昇



- 将来的には1,200円/月を目途とし、PSTNからの移行インセンティブを向上
- OSU共用ではなく、分岐回線単位が効果的(算定方法:将来原価方式)
- 光アクセスの基本料金化の検討もするべき

光ファイバ接続料の引き下げ



加入光ファイバの基本料と加算料の合計(1芯あたり、月額)

FTTHとADSLの料金比較(ISP:OCNの場合)

	月額料金
フレッツ光 (ファミリータイプ/東日本)	6,720円
フレッツ光 (マンションタイプ/東日本)	4,777.5円
ADSL (12M/イー・アクセス)	2,121円

Comparison ratios: 3x (from ADSL to Family FTTH), 2x (from ADSL to Apartment FTTH)

FTTHとADSLの月額料金 出所:OCN料金表

- ドライカップパ接続料水準の維持抑制も論点に加えるべき
- 光及びIP網への移行期における利用者利便性を確保
- 2011年度以降の接続料で議論し、結論を得ることが必要

ドライカップパ接続料の推移

	2007/2008	2009	2010	2011
NTT東	1,285円	1,323円	1,391円	
NTT西	1,383円	1,378円	1,394円	

需要減に伴う接続料の上昇
が進行中

出所：NTT東西の接続料算定（回線管理運営費含む）

NTTによるマイグレーションに関するルール

- マイグレーションによって、NTTの独占化が強化されないことが必要
- 接続事業者を交えてのルール化の検討を実施(行政の調整的役割にも期待)

	事前通知の有無	代替サービスの条件	移行費用の整理
メタルから光ファイバ	4年前通知	FTTH	未
PSTNからNGN	未	未	未

検討が必要なアンバンドル機能

- メタルアクセスの場合におけるADSLラインシェアリング機能

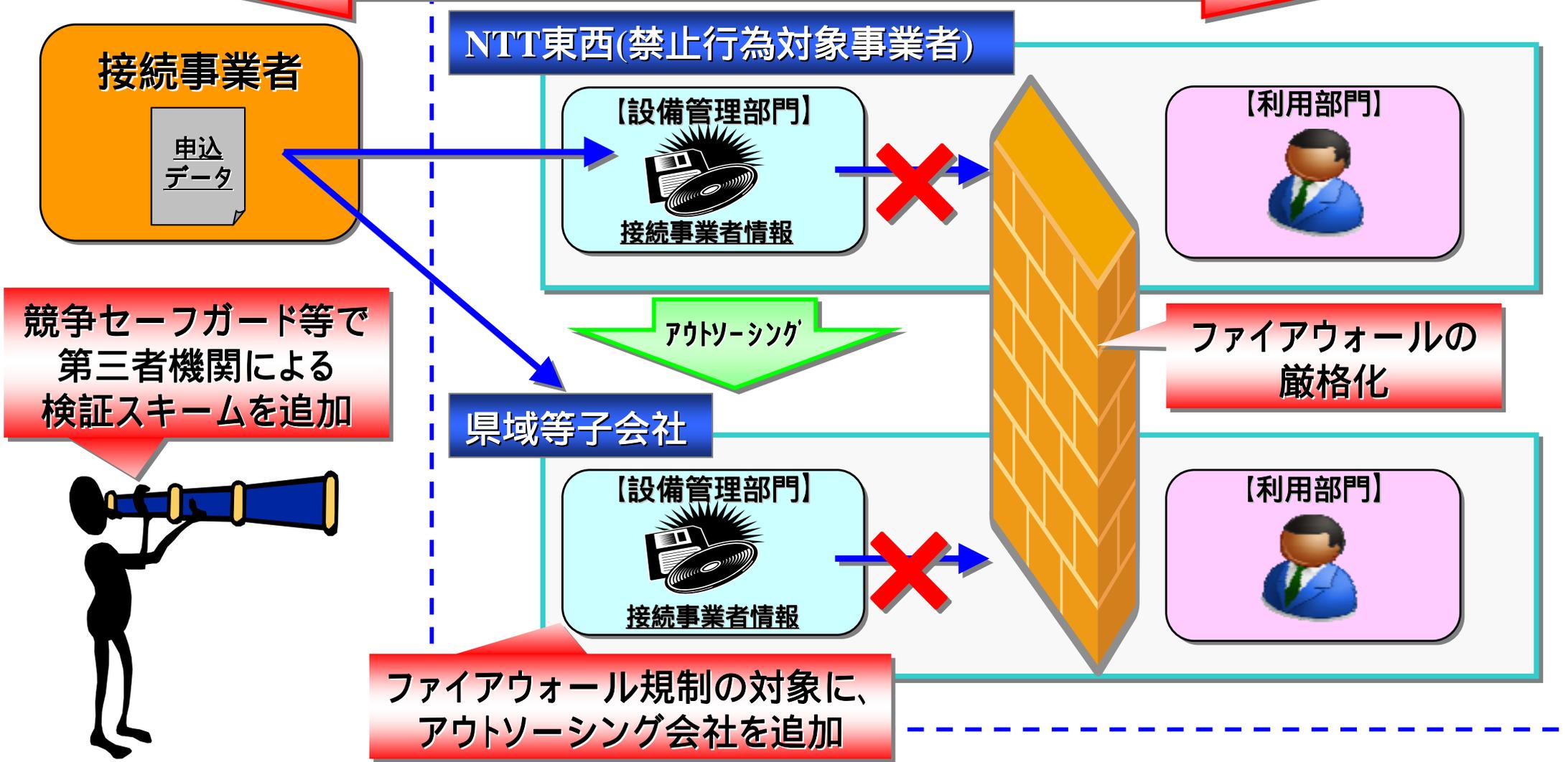
ドミナント規制の在り方

- 「 ボトルネック設備利用の同等性確保の在り方」、「 NTTの在り方」、
- 「 総合的な市場支配力に着目した規制の在り方」に対する意見
 - ✓ ボトルネック設備利用における同等性
 - ✓ グループドミナンスの抑制

ボトルネック設備利用における同等性

アウトソーシング会社も含めて、接続事業者に対する同等性を確保
NTT西「接続情報の不適切利用」事例の再発防止は、制度的担保が必要

取扱いにおける同等性の確保



NTTグループの市場支配力を取り上げた論点整理(案)は適切
NTTにおける県域等子会社を通じた営業活動や、事業会社の連携は大きな課題

【制度的課題】

NTTの組織・業務実態との乖離
→ 県域等子会社の問題

共同営業や連携サービスに係る
市場支配力の行使に対する懸念
→ 特に1種指定のNTT東西と
2種指定のNTTドコモ間の問題

【必要な措置】

禁止行為規制

NTTグループ間事業会社の共同営業、
連携サービスを抑制
規制対象に県域等子会社を追加

特定関係事業者制度

NTTドコモ、県域等子会社の指定

NTT東西の活用業務

IP電話やNGNサービス等の県間役務は認可済み、ISP等他今後想定される業務内容も念頭に入れて、グループドミナンスの検討との連携が必要